

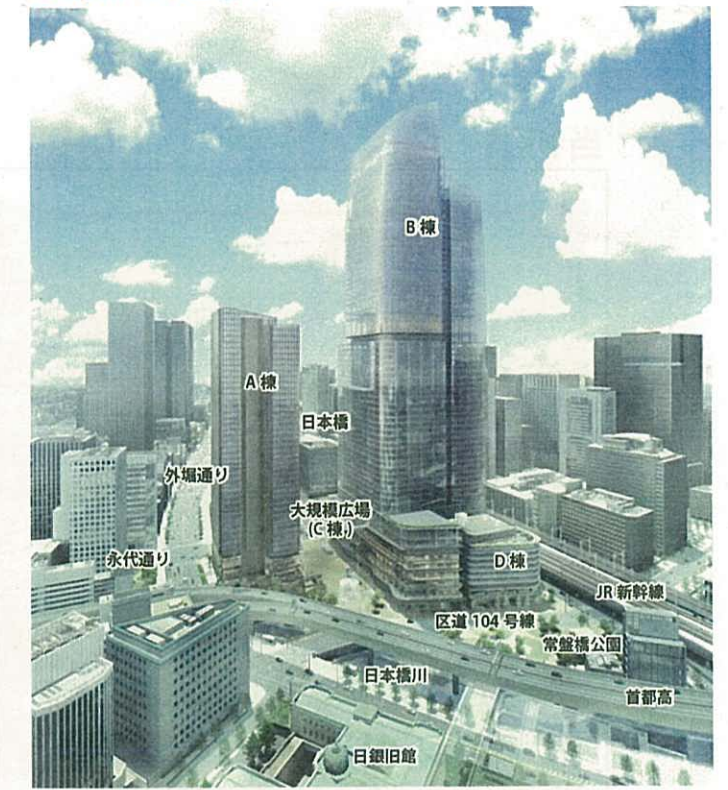
□計画概要

□計画地の位置	東京都千代田区大手町2丁目の一部、中央区八重洲1丁目の一部				
□地域地区	商業地域、防火地域、大手町・丸の内・有楽町地区地区計画、都市再生特別地区、特別容積率適用地区				
□計画容積率	1,760% (都市再生特別地区)				
□基準建ぺい率	80% (70% ※ 既決定の都市再生特別地区)				
□都市再生特別地区の区域面積	約3.5ha (D-1街区)				
□建築物の高さの最高限度	390m				
□敷地面積	約31,400㎡				
□棟別諸元	全体	A棟	B棟	C棟(変電所など)	D棟(下水ポンプ場)
□主要用途	-	事務所、店舗、駐車場等	事務所、店舗、駐車場等	店舗、変電所、駐車場等	事務所、下水ポンプ場、駐車場等
□延べ面積(容積対象延べ面積)	約680,000㎡ (約552,000㎡)	約140,000㎡	約490,000㎡	約20,000㎡	約27,400㎡
□階数/最高高さ	-	地上38階・地下5階 /約212m	地上61階・地下5階 /約390m	地下4階	地上9階・地下3階 /約53m
□駐車等台数	自動車(うち荷捌き)	約750台(約80台)	-	-	-
	自動二輪	約75台	-	-	-
	自転車	約155台	-	-	-
□着工(予定)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成35年度 (2023年度)	平成30年度 (2018年度)	平成29年度 (2017年度)
□竣工(予定)	平成39年度 (2027年度)	平成33年度 (2021年度)	平成39年度 (2027年度)	平成39年度 (2027年度)	平成34年度 (2022年度)

□位置図 S=1:8,000

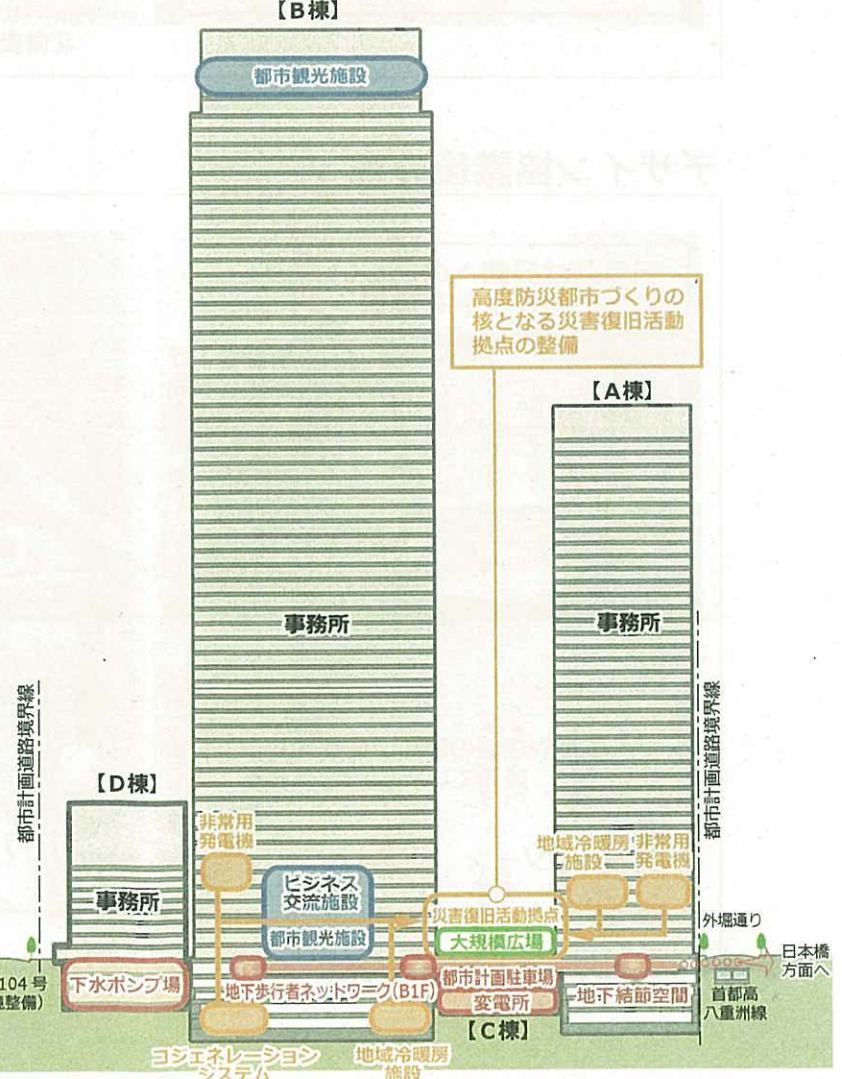
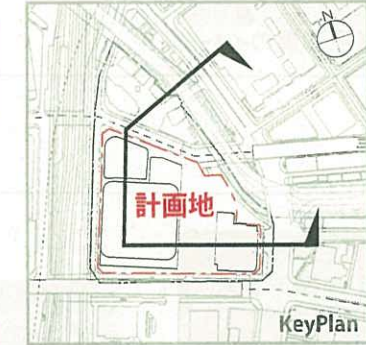
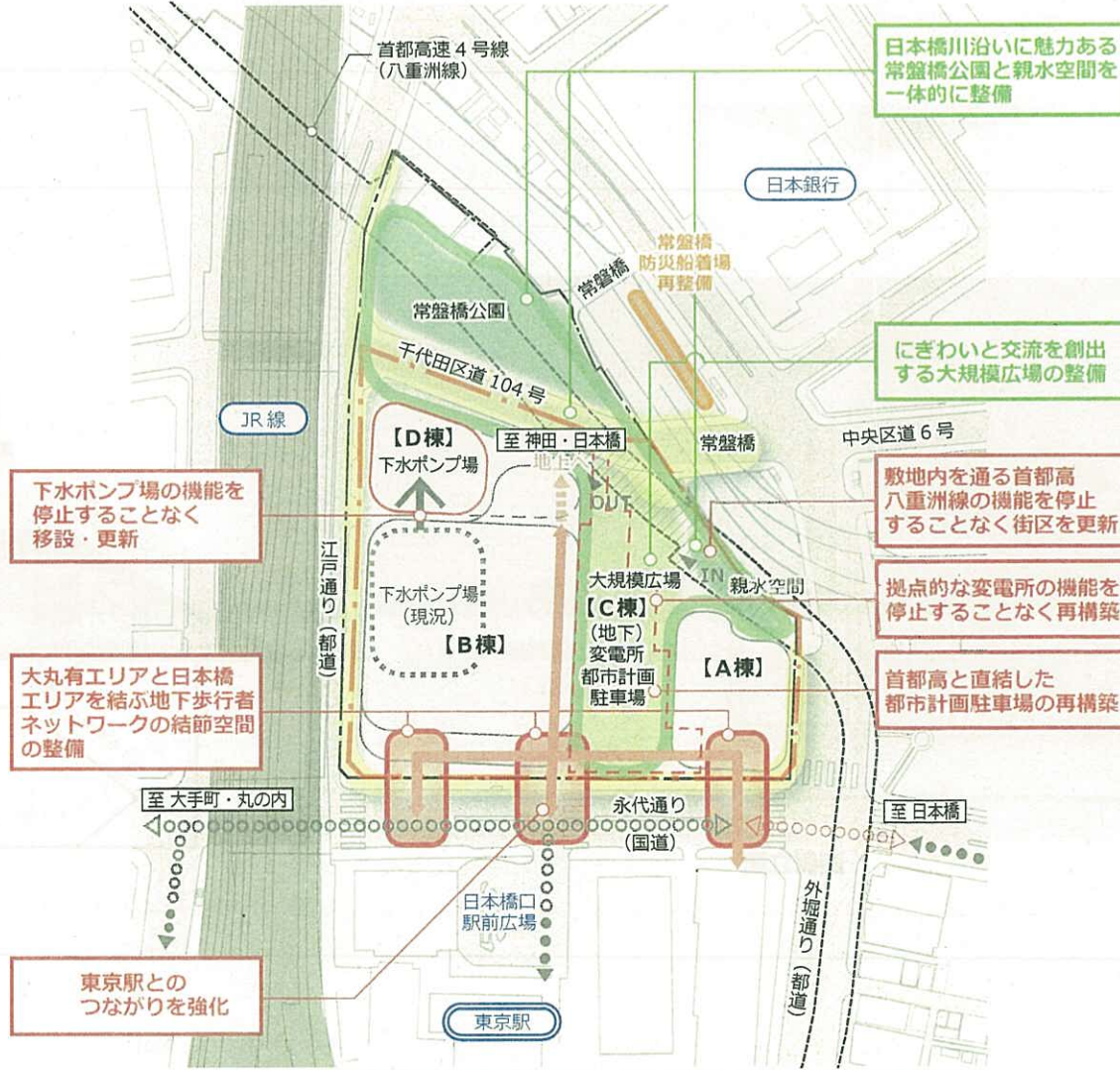


□北側からの全景イメージ



□都市再生への貢献

- 国際ビジネス拠点を支えるインフラ施設の再編と広域的な地下歩行者ネットワークの形成**
  - (1) 国際ビジネスセンターの基盤を担う重要インフラ施設の再編
    - ① 下水ポンプ場の機能を停止することなく移設・更新
    - ② 拠点変電所の機能を停止することなく再構築
    - ③ 首都高と直結した都市計画駐車場の再構築
  - (2) 東京駅周辺エリアの広域的な地下歩行者ネットワークの連携・強化
- 東京駅周辺エリアを結節するにぎわいと交流の広場空間の整備**
  - (1) 東京駅日本橋口前に、にぎわいと交流を創出する大規模広場の整備
  - (2) 日本橋川沿いに魅力あふれる常盤橋公園と親水空間を整備
- 高度防災都市づくりの核となる取組と環境負荷低減**
  - (1) 災害復旧活動拠点の整備と帰宅困難者支援機能の整備
  - (2) 自立・分散型エネルギーの導入と水の自立化
  - (3) 省エネルギー化による環境負荷低減の取組
- 国際競争力強化に資する都市機能の導入**
  - (1) 国際金融拠点の形成に向けた国際ビジネス交流拠点の整備
  - (2) 国際都市「東京」の魅力を発信する都市観光施設の形成

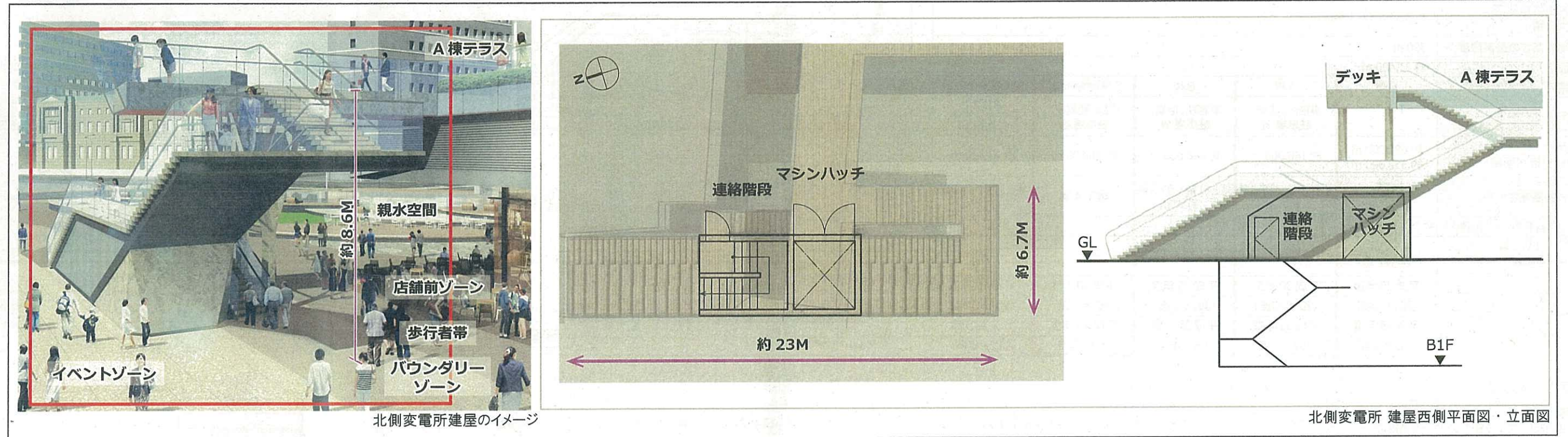


凡例	地下結節空間	◁○○○▷	B1F(計画) 地下歩行者通路
	計画地	◁●●●▷	B1F既存 地下コンコース
	B1F(今回) 地下歩行者通路	◁○○○▷	B2F既存 地下コンコース

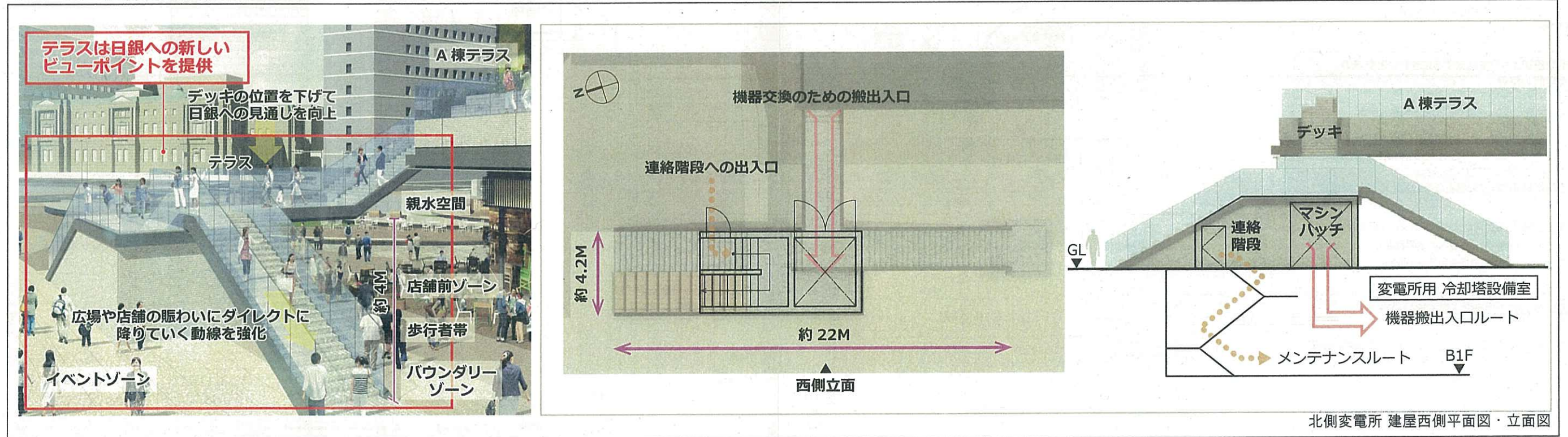
※上記計画案は現時点の想定であり、今後の検討過程の中で変更となる場合があります



当初案

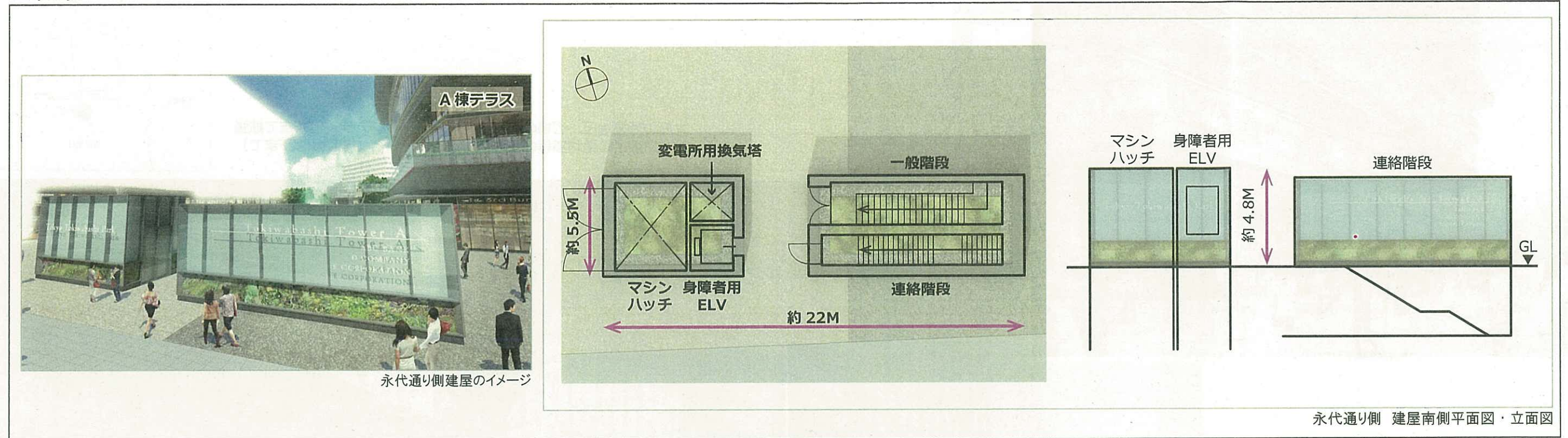


デザイン協議後の案

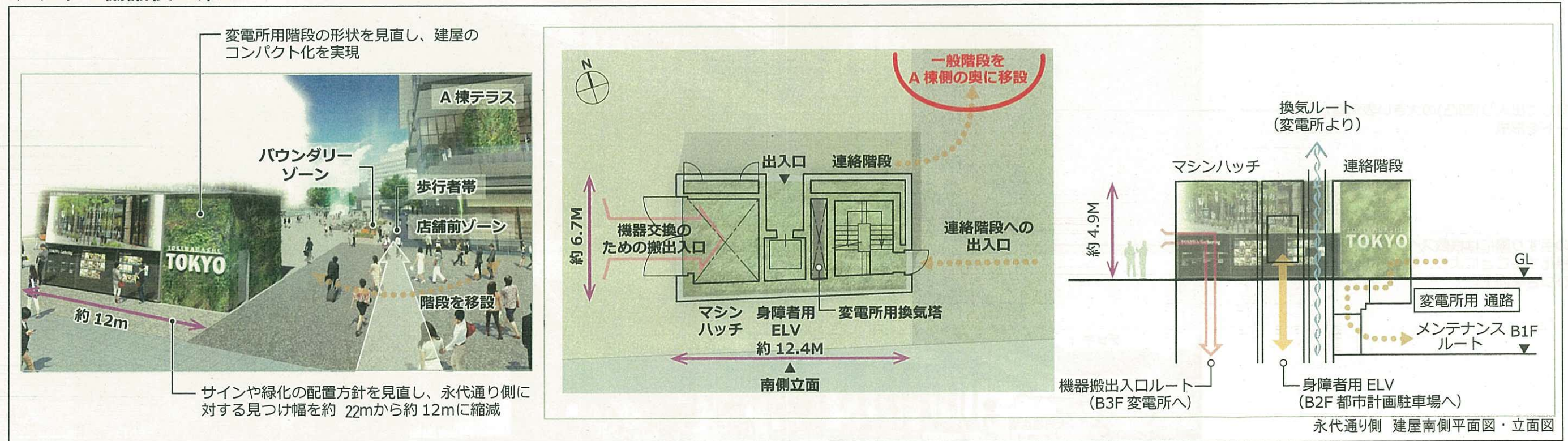




当初案



デザイン協議後の案

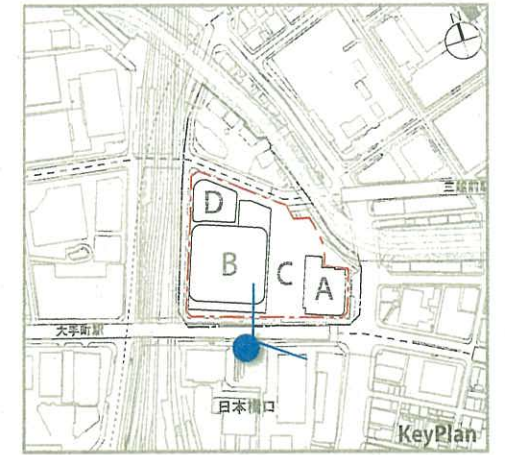




当初案



デザイン協議後の案



大庇の軒裏など、広場の人々の目に触れる箇所の素材感等の表現に配慮

テラスを3Fまで拡張 (従前案は2Fまで)

テラスを3階 (従前は2階) まで拡大、利用しやすい整形空間とすることで、ファサード全体を彫りの深い表情豊かなデザインとする。

広場に対して出入り(凹凸)の大きい表情豊かなファサードを形成

テラスの手すり際には栈敷スペースを設置し、柱部分を壁面緑化することにより、地上広場と低層部の空間的な結びつきを向上。



テラスを、広場とのつながりや“見る-見られる”の関係性を深める栈敷空間として更に充実

親水空間や広場からつながるように、テラスや建物柱に積極的な壁面緑化や植栽を推進